

「考察・推論」テーマ

考察1



考察2

- 右図は、金属球に働く力の大きさを矢印の長さとして記入したものである。右図より、金属球を異なる傾斜の斜面で下降させた場合、傾斜が大きい方が合力 F の矢印が長くなることから、加速度が大きくなる。
「図の活用」
- $x-t$ グラフより、傾斜が大きくなると、移動距離は大きくなる。
「グラフの活用」
- $v-t$ グラフより、時間の経過にともない、台高 2cm の場合は、約 0.05m/s ずつ速さが増加している。台高 4cm の場合は、約 0.13m/s ずつ速さが増加している。
「グラフの活用」
- $v-t$ グラフと等加速度直線運動の式 $v = v_0 + at$ より、この実験の場合は、 $v_0 = 0$ であることから、 $v = at$ となり、 v は t に比例することが分かり、グラフからも比例することが読み取れる。
「グラフの活用」「数式の活用」

自己評価①

相互評価

相互評価

自己評価②

「考察・推論」の観点	図の活用	グラフの活用	数式の活用	根拠の明確化 仮説への立ち返り	科学用語を用いた 適切な表現
点数	点	点	点	点	点
コメント					総計
					点 / 20 点

年 組 番 氏名